

7 長沼公園・平山城址公園コース

★★★ 中級 行程: 約7.2km



1 長沼公園への道

長沼駅に降りると南に横たわる山が長沼公園。駅から北野街道を渡ると、公園までは水路と田んぼ治いの道を行く。



2 庚申塚

道端には庚申塚もあり里山の風情。ここを直進すると長沼口だが、今回は少し手前で右へ行き、左手に六社宮を見て進み殿ヶ谷の道を上る。

京王線の聖蹟桜ヶ丘駅からは、多摩丘陵の北側を多摩川の支流である浅川と並行するように走ります。

長沼公園は高低差が100mあり、急な斜面はクスギやコナラを中心とする雑木林に覆われ山深い雰囲気がかもしています。この公園はカタクリの群生でも知られます。平山城址公園駅前の広場脇には平山季重の居館(平山城)跡の碑があります。平山季重は平安時代末期の源氏の武将で、平山城址公園のあたりは見張所があったと伝わる。長沼公園と同じ野猿の尾根道がここにも走り、斜面に雑木林が広がります。

この公園から南に抜けると、タイムスリップしたように田んぼの風景があらわれ、ゆぎの里へと続きます。

このコースは、平山城址公園駅と長沼駅間で車窓の南側に見える丘陵をたどり、丘陵の向こう側の京王相模原線の京王堀之内駅へ出ます。

なお、平山城址公園への住宅街の道が少し複雑ですので、地図をよく確かめましょう。また、平山城址公園から平山城址公園駅へ出て、2度に分けて歩くこともできます。

長沼公園の尾根道と平山城址公園を抜け、ゆぎの里へ



3 殿ヶ谷の道

長沼公園には尾根をめざして何本もの道があるが、この道は西はじのルートで沢を木橋で渡り、途中眺望が開けるなど変化に富む。

4 絹ヶ丘口付近

尾根まで約200mのあたりで木々の間に八王子市街が見える。付近は4月上旬頃に桜が楽しめ、11月下旬には全山紅葉に彩られる。



5 野猿の尾根道

公園南端の頂上には雑木林の中を東西に野猿の尾根道が通っている。この道をたどると休憩舎やトイレのある頂上園地がある。



6 展望園地

長沼公園で最も眺望のよい場所がここ。眼下に浅川の流れや八王子と日野の市街、さらに奥多摩や遠く秩父の山並まで見渡せる。



8 平山口下

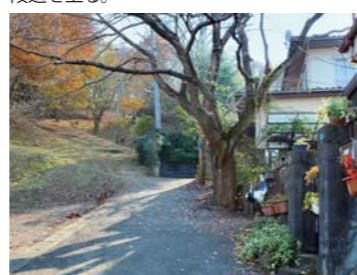
ここからは、写真にある道路を手前から奥へ山際に沿って進む。

9 六国台下

平山城址公園の六国台へ上るまでの住宅街の道は少し複雑なので、地図を参考に慎重に。六国台へは最後の民家の左の階段道を上る。

7 平山口

野猿の尾根道の東端にあたり長い階段を下りる。野猿の尾根道は平山城址公園方面に通抜けできないので、迂回して平山城址公園をめざす。



14 終わりと始まりの広場

東園の南端の一番低いところにある。広場のベンチの左側に見える小道に分け入って進むとゆぎの里へ出られる。



15 谷戸の田んぼ

うっそうとした雑木林を抜けたときいきなり視界が開け、宮嶽の谷戸の田んぼがあらわれる。ここから先はゆぎの里、田んぼや畑の里山風景がしばらく続く。



16 ユギムラ牧場

自動車整備工場の角から左の道を行くと懐かしい里の道、左へ行かず直進するとこの牧場・農場があり牛舎も見える。



17 堀之内寺沢里山公園

管理棟の裏手に雑木林が広がる。保全域以外の部分は立ち入ることができる。西側の山裾に龍生寺阿弥陀堂が建っている。

18 大栗川

この川を渡ると間もなく京王堀之内駅。ニュータウンの街並に歩いてきた里山風景がいつそう貴重に思える。



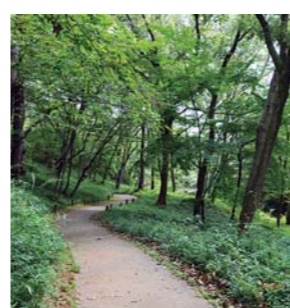
11 平山季重神社

やや回り道だがこの神社に寄るのもよい。ここから急坂を下り、季重の墓がある宗印寺をへて平山城址公園駅に出ることもできる。



10 くぬぎの道

坂道を上り切ると平山城址公園沿いに野猿の尾根道があり、少し東へ行き七生口から沢沿いのくぬぎの道へ。道を下り切ると猿渡の池がある。



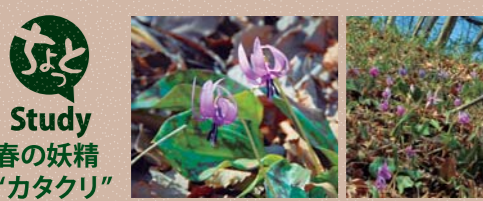
12 ヤマツツジの小径

平山城址公園は西園と東園からなり、細長い中央部分にこのつづら折りの道が続く。4月下旬から5月上旬頃にヤマツツジが楽しめる。



13 展望広場

中央広場の先の高台にある展望広場からの眺め。園内は30mの高低差があり起伏に富んでいる。



Study 春の妖精 "カタクリ"

早春の雑木林に咲くカタクリは、木々が葉を繁らせる前に花を咲かせ、葉が繁る頃には地上から姿を消し地下で過ごす。このような花を"春の妖精"と呼ぶが、これは陽があたるうちに花を咲かせ子孫を残すための戦略。長沼公園には群生地があり、開花期に合わせて毎年3月最終土日に観察会が催される。

